

# 平成28年度決算(案) 説明資料

相互会社としての使命	・ ・ ・ ・ ・ P1	健全性の状況	・ ・ ・ ・ ・ P9
平成28年度決算(案)のポイント	・ ・ ・ ・ ・ P2	オンバランスの自己資本強化と継続的なリスク・コントロール	・ ・ ・ P10
保険業績の状況(2社合算)	・ ・ ・ ・ ・ P3 ~ P4	平成28年度決算(案)にもとづく社員配当金	・ ・ ・ ・ ・ P11
保険料等収入の状況(2社合算)	・ ・ ・ ・ ・ P5	経営の差別化の歴史	・ ・ ・ ・ ・ P12 ~ P13
資産運用の状況(富国生命単体)	・ ・ ・ ・ ・ P6 ~ P8	価値観としての「お客さま基点」	・ ・ ・ ・ ・ P14
基礎利益の状況(2社合算)	・ ・ ・ ・ ・ P8	(ご参考)主要業績	・ ・ ・ ・ ・ P15 ~ P18

平成29年5月25日

富国生命保険相互会社

すてきな未来応援します

**フコク生命**

# 相互会社としての使命

## 配当

〔 実質的な保険料負担の軽減 〕

自己資本の強化と配当還元  
の充実をバランスよく実施

お客さまの満足度の向上

## 利益

〔 安定した利益の確保による、  
自己資本の強化と配当還元の充実 〕

## 業績

〔 単なるトップラインの競争ではなく、  
保険金額ベースと保険料ベースの業績を重視 〕

リスク管理および資産運用の高度化、  
運用効率の向上

安定した利益を確保し、配当還元の充実を通じてご契約者の実質的な保険料負担の軽減を図ることが相互会社としての使命であり、保険会社としていかなる時にも保険金等を確実にお支払いすることが最も重要な責務であると考え、実践しております。

# 平成28年度決算(案)のポイント

## 個人保険 5年連続増配

- ◆ お客さまへの配当還元積極的に取り組むこととし、5年連続で増配を実施
- ◆ 今後も配当還元を通じて、お客さまの実質的な保険料負担の軽減を図る

## 新商品「医療大臣プレミアエイト」の販売が好調

- ◆ 平成28年4月から富国生命にて発売した医療保険「医療大臣プレミアエイト」が好調な販売となっており、富国生命単体の医療保険の新契約年換算保険料は前年対比23.5%増加の58.4億円

## 保有契約年換算保険料は引き続き増加

- ◆ 2社合算の保有契約年換算保険料は、富国生命・フコクしんらい生命ともに増加し前年度末比1.2%増加の5,819億円、うち、第三分野は前年度末比1.5%増加の1,108億円
- ◆ 保有契約高は反転増加に向けて着実に進展

## 基礎利益は高い収益性を維持

- ◆ 2社合算の基礎利益は、915億円と過去最高水準を維持
- ◆ 前年対比3.5%減少となったものの、4年連続で900億円台を確保

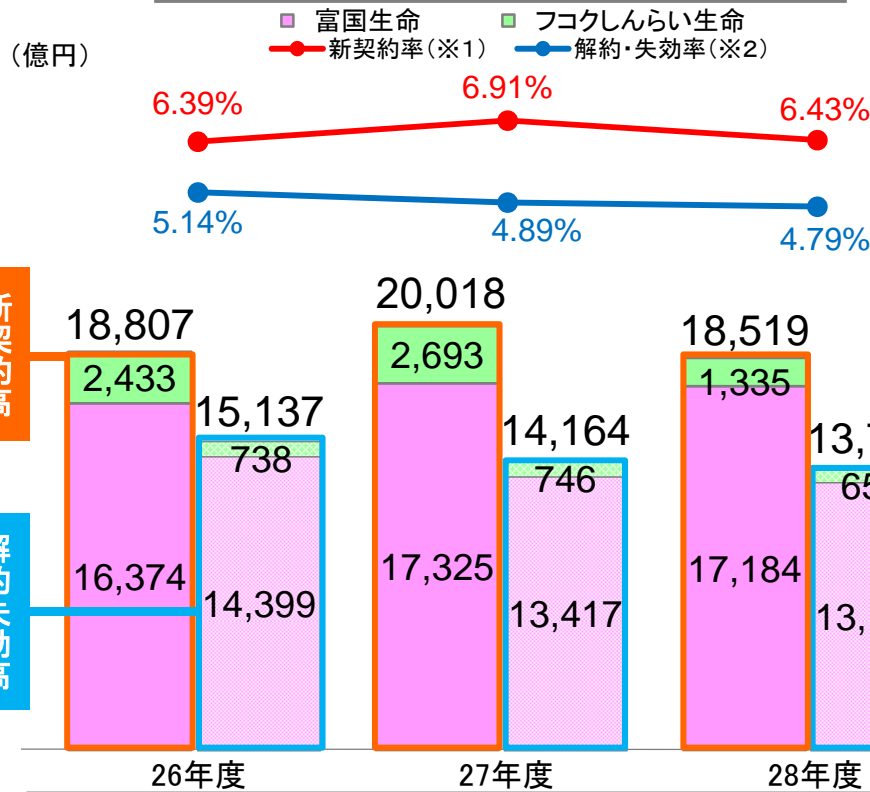
## 引き続き高い健全性を維持

- ◆ 連結ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比84.2ポイント低下となったものの、1,257.3%と引き続き高い水準を維持

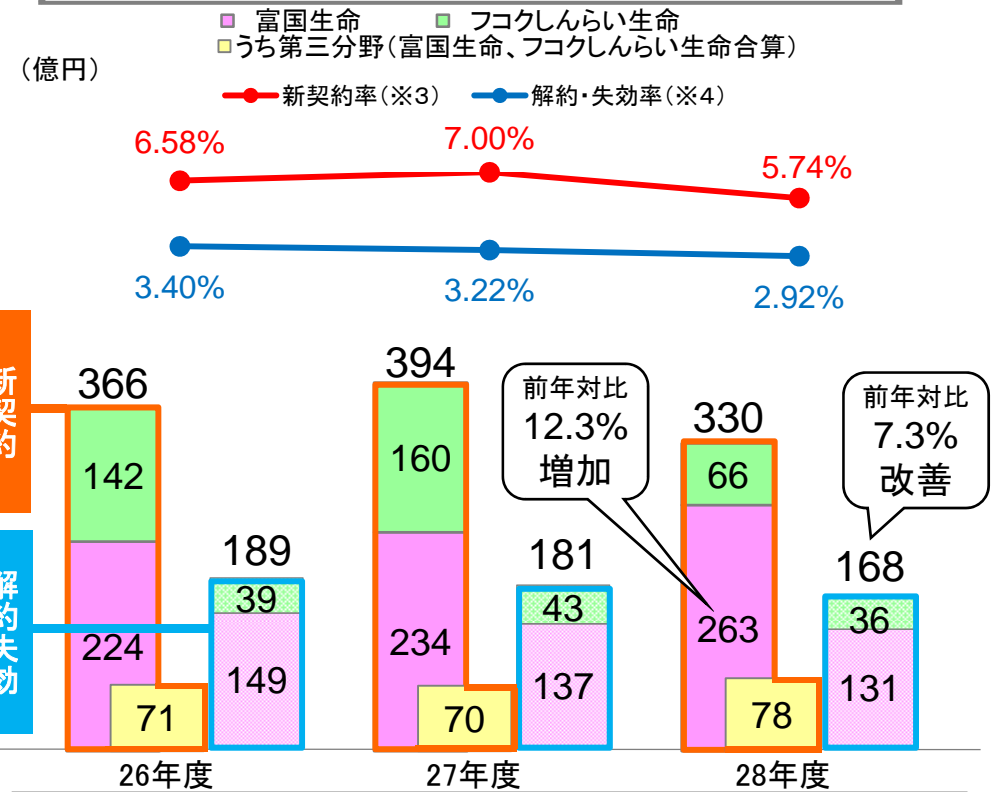
# 保険業績の状況(2社合算) ～新契約・解約失効～

※個人保険と個人年金の合計

## 新契約高・解約失効高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



## 新契約・解約失効年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



- 新契約高は富国生命、フコクしんらい生命ともに減少し、前年対比7.5%減少
- 解約失効高は前年対比2.6%減少し、前年度に引き続き改善

(※1)新契約率＝新契約高／年始保有契約高  
(※2)解約・失効率＝解約失効高／年始保有契約高

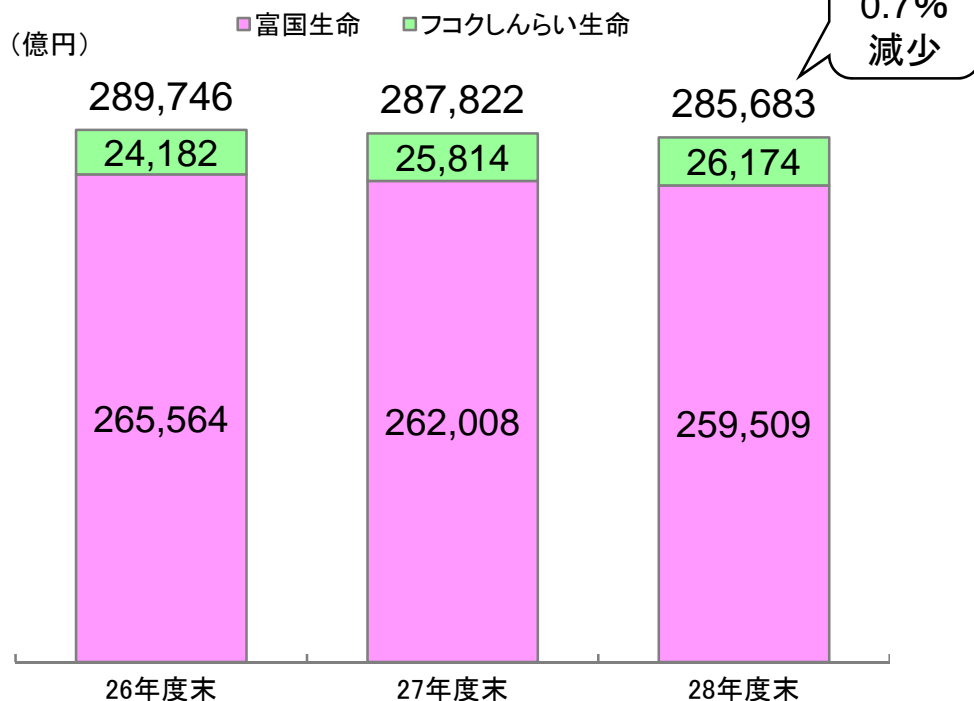
- 新契約年換算保険料はフコクしんらい生命が貯蓄性商品を販売休止したことにより、減少したものの、富国生命単体では12.3%増加
- 第三分野は前年対比11.1%増加
- 解約失効年換算保険料は前年対比7.3%減少し、前年度に引き続き改善

(※3)新契約率＝新契約年換算保険料／年始保有契約年換算保険料  
(※4)解約・失効率＝解約失効年換算保険料／年始保有契約年換算保険料

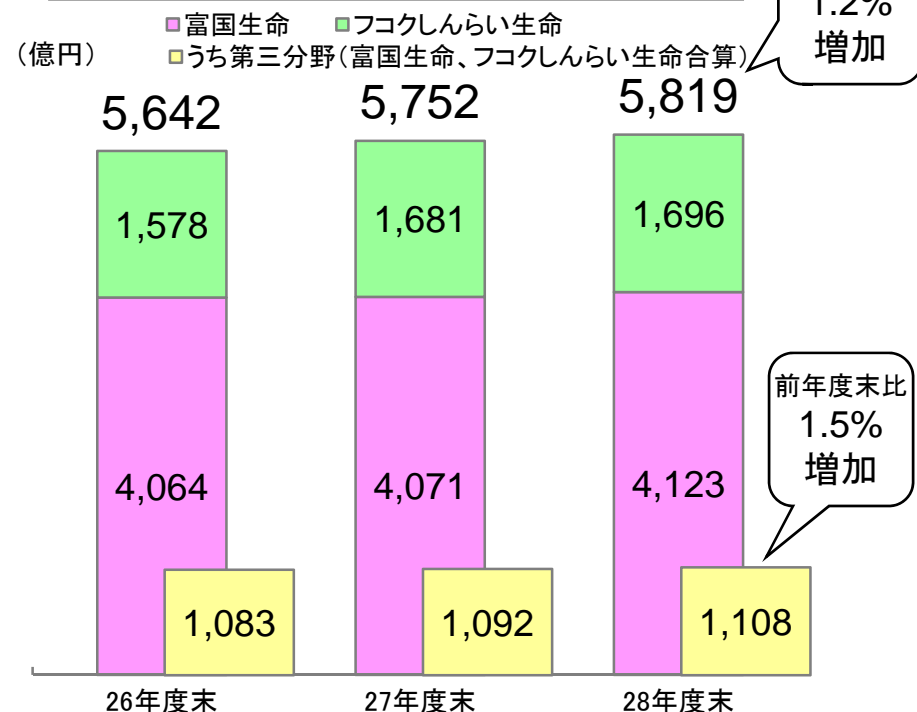
# 保険業績の状況(2社合算) ～保有契約～

※個人保険と個人年金の合計

## 保有契約高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



## 保有契約年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

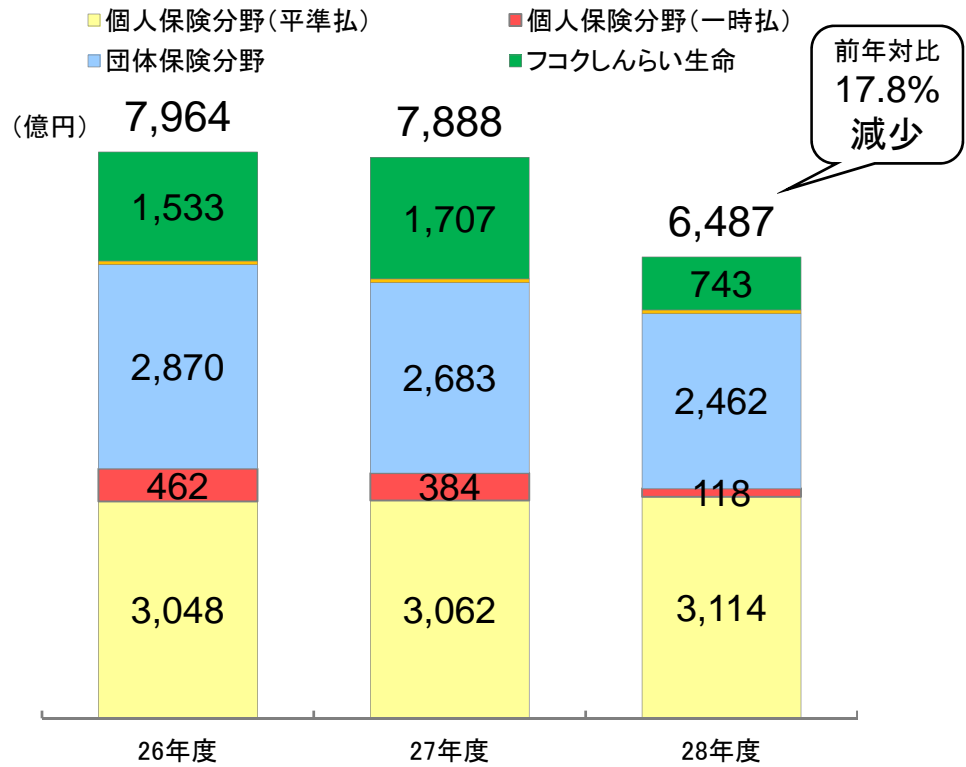


- 保有契約高の減少幅は継続的に縮小傾向
- 解約失効高の改善により、保有契約高の反転増加に向けて着実に進展

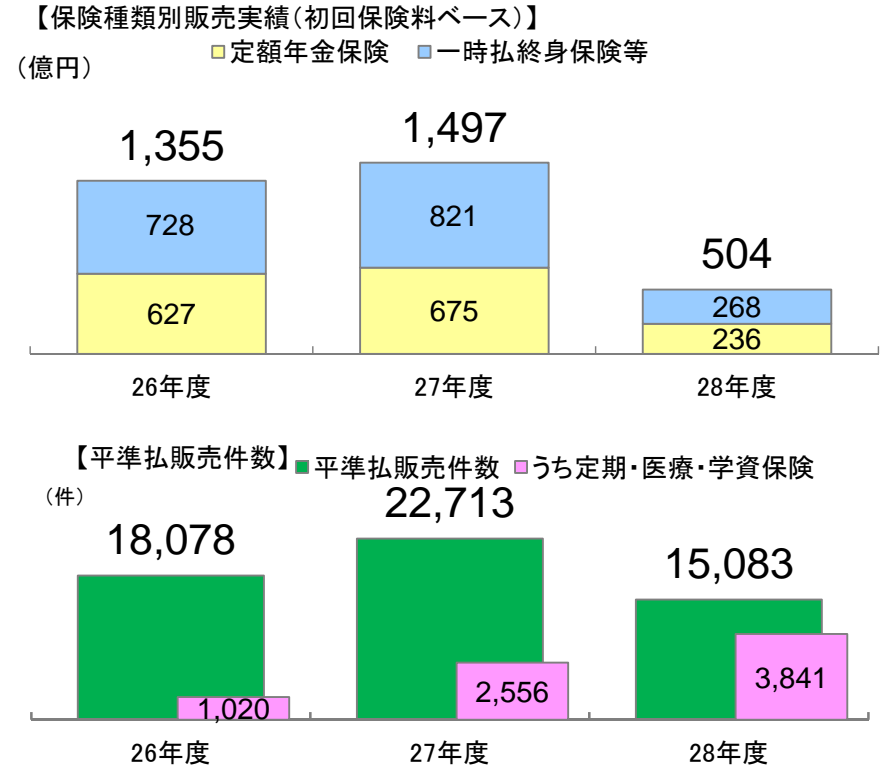
- 保有契約年換算保険料は、富国生命、フコクしんらい生命ともに増加しており、前年度末比1.2%増加
- うち、第三分野の保有契約年換算保険料も前年度末比1.5%増加の1,108億円

# 保険料等収入の状況(2社合算) ～保険料等収入・金融機関窓販～

**保険料等収入の推移**  
(富国生命、フコクしんらい生命合算)



**金融機関による保険販売の状況**  
(フコクしんらい生命の収入保険料)

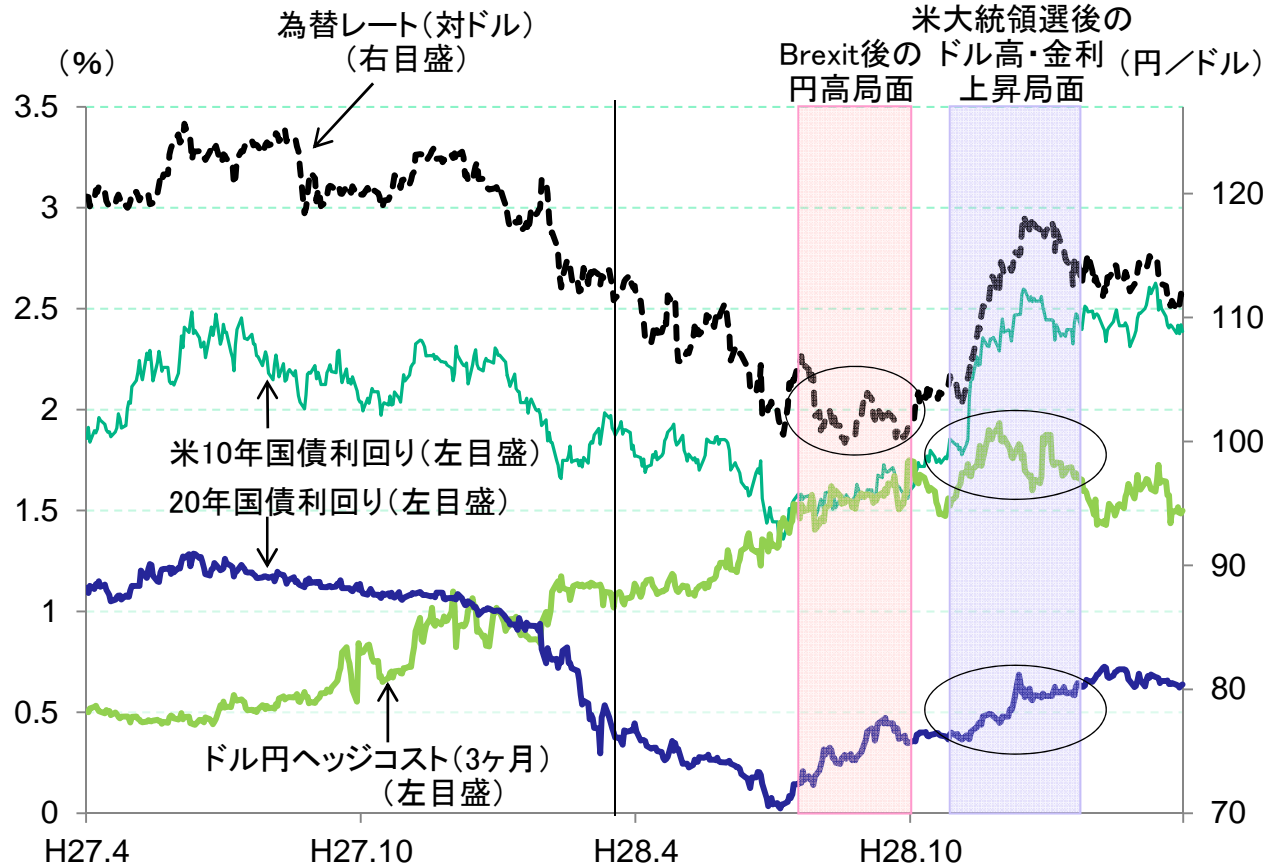


- 保険料等収入は富国生命の団体保険分野やフコクしんらい生命の減少などにより、前年対比17.8%減少
- 富国生命の個人保険分野の平準払は堅調に推移

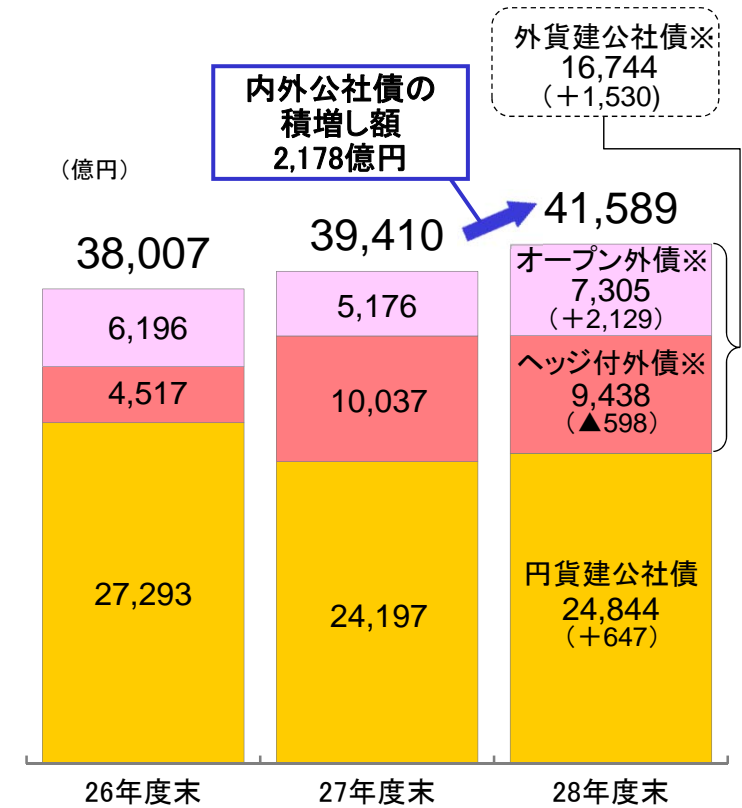
- 貯蓄性商品の販売休止により大きく減少
- 平準払販売件数の減少は定額年金保険の販売休止による。年金保険以外の件数は伸展しており、今後も引き続き定期・医療保険の拡販に注力

# 資産運用の状況(富国生命単体)

## 内外公社債の運用環境



## 内外公社債(帳簿価額)の内訳

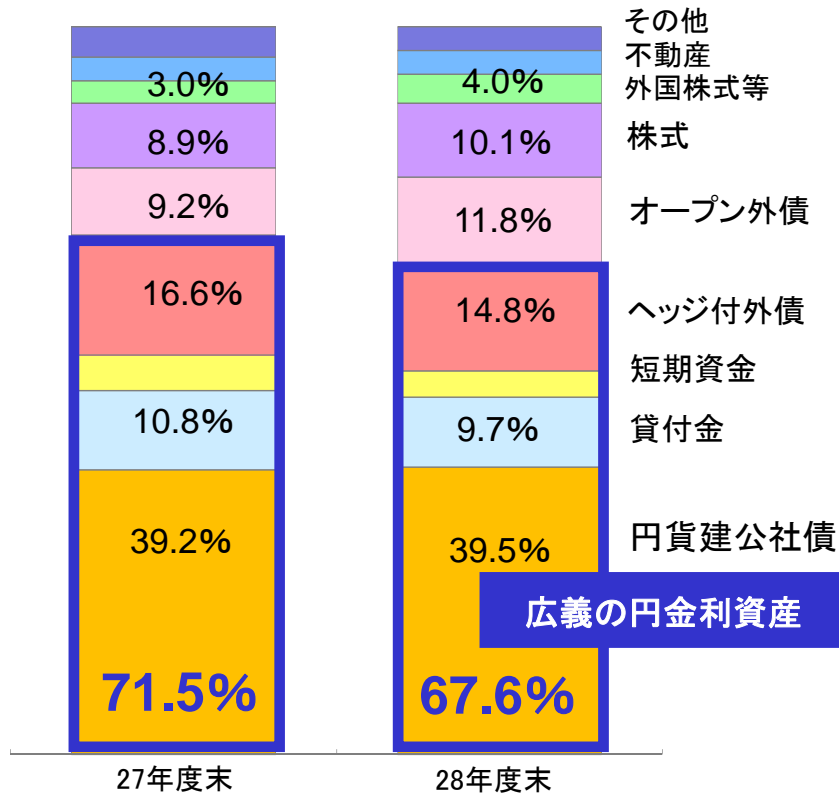


※ 損益計算書に計上した外貨建公社債の評価損益・為替換算損益を控除したもの

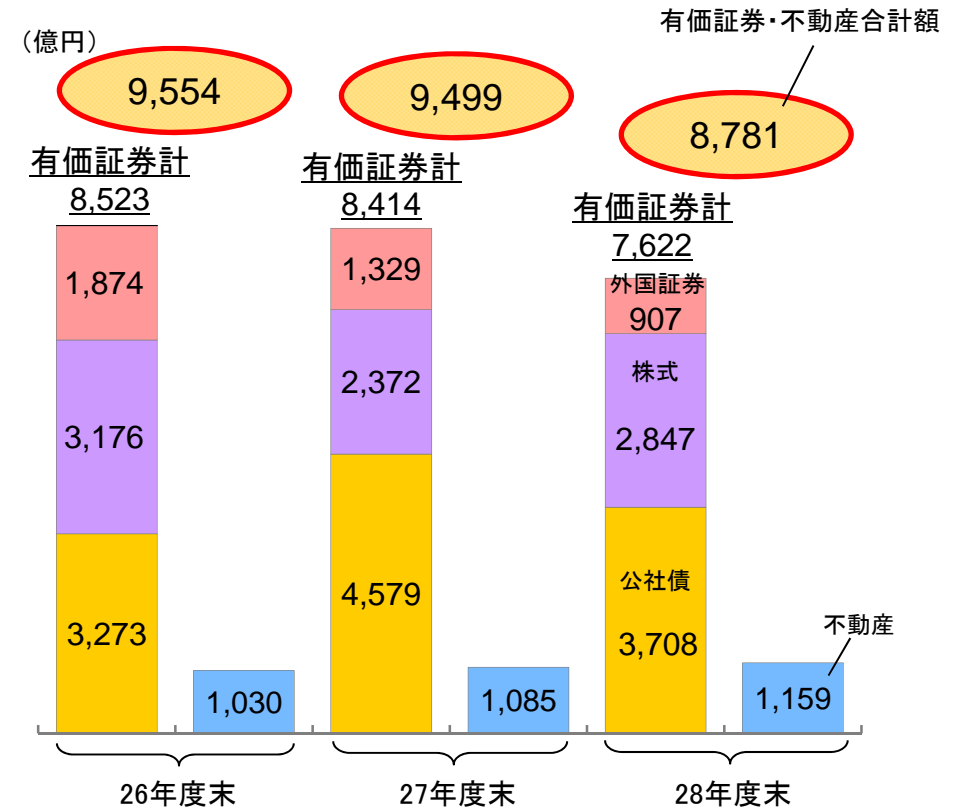
- 市場環境の変化を捉えた機動的な資産運用を実践
- 夏場の円高局面では、割安感の出たドル建債を中心にオープン外債で積増し
- 為替ヘッジコストの上昇を受け収益性が低下したヘッジ付外債を超長期の日本国債へ入れ替え

# 資産運用の状況(富国生命単体)

## 一般勘定資産の資産構成比(BSベース)



## 含み益の状況



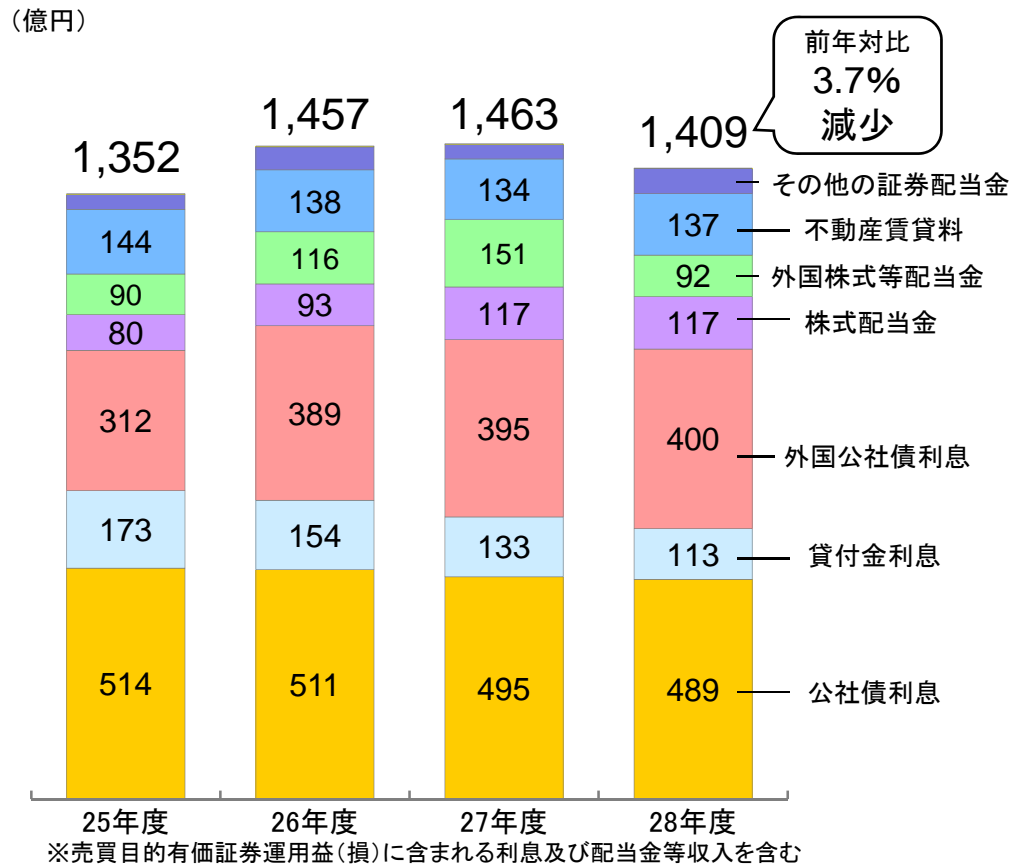
- 広義の円金利資産の構成比は7割程度と、引き続き安全性の高いポートフォリオを構築

- 有価証券の含み益は、内外金利の上昇などにより前年度末比で減少となるも、7,622億円と高水準を維持



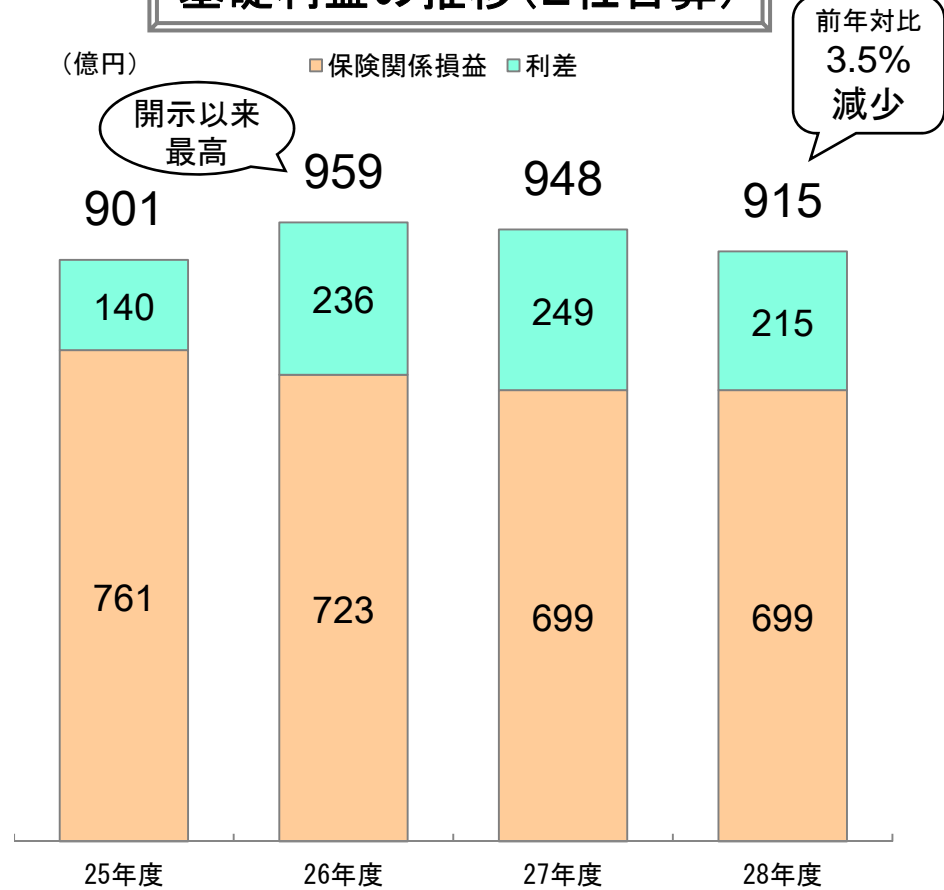
# 資産運用(富国生命単体)・基礎利益(2社合算)の状況

## 利息及び配当金等収入※の状況



- 利息及び配当金等収入は、前年対比減少となったものの、1,409億円と引き続き高水準を維持

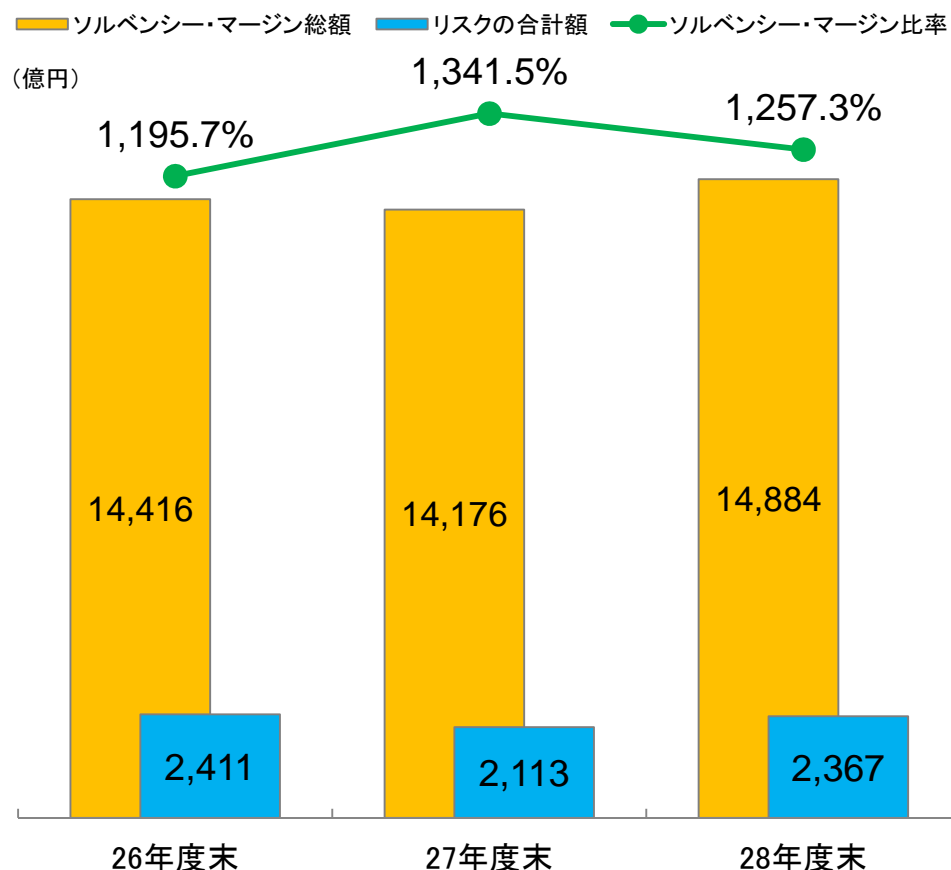
## 基礎利益の推移(2社合算)



- 基礎利益は前年対比3.5%減少となったものの、915億円と4年連続で900億円台を確保
- 利差は減少したものの、保険関係損益(危険差+費差)は堅調に推移

# 健全性の状況

## ソルベンシー・マージン比率の推移(連結)



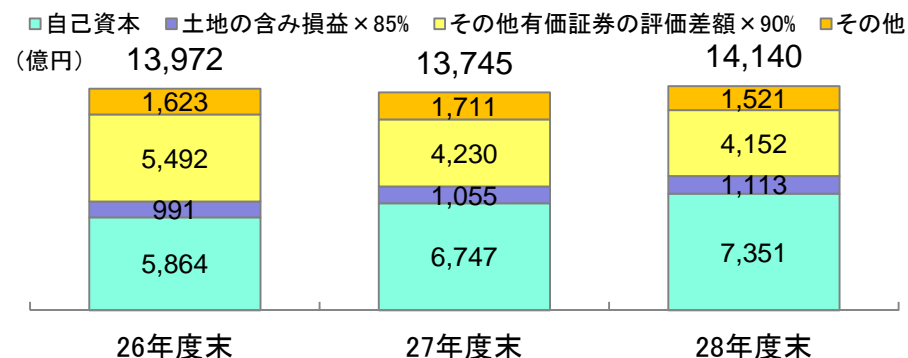
- 連結ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比84.2ポイント低下となったものの、1,257.3%と引き続き高い水準を維持

## ソルベンシー・マージン比率の推移(単体)

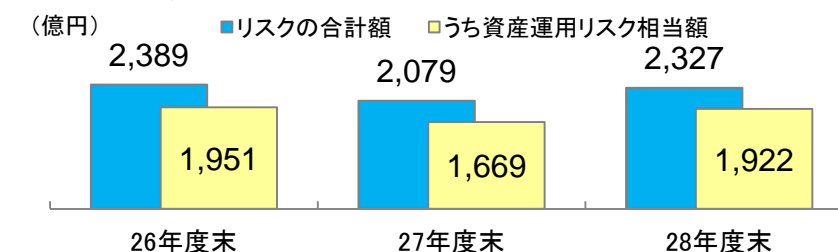
■ソルベンシー・マージン比率

項目	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,169.3%	1,321.8%	1,214.8%

■ソルベンシー・マージン総額(A)



■リスクの合計額(B)

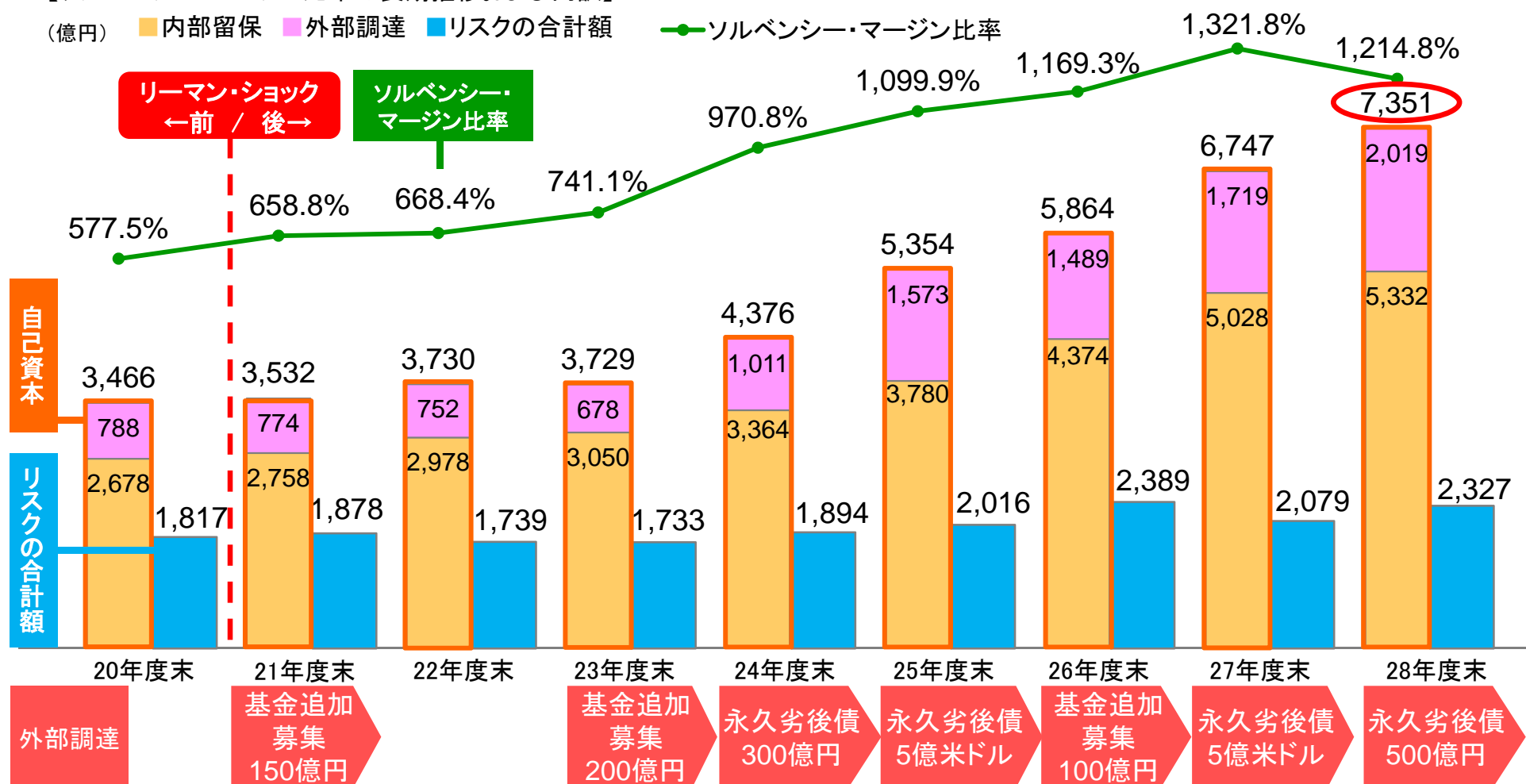


- 永久劣後債の発行や内部留保の積増しなどでマージン総額は増加したものの、オープン外債の積増しに伴うリスクの合計額の増加により、前年度末比107.0ポイント低下の1,214.8%

# オンバランスの自己資本強化と継続的なリスク・コントロール(富国生命単体)

【ソルベンシー・マージン比率の長期推移および内訳】

(億円) ■ 内部留保 ■ 外部調達 ■ リスクの合計額



※平成22年度以前のソルベンシー・マージン比率等は、現行基準を基に算出した参考数値

- 平成23年度に募集した基金200億円を償却したものの、自己資本の一層の強化を図ることを目的として、10月に永久劣後特約付社債(500億円)を発行
- 平成28年度決算において内部留保を約300億円積み増す
- 統合的リスク管理(ERM)を着実に推進

# 平成28年度決算(案)にもとづく社員配当金

## ■ 個人保険・個人年金保険

- 個人保険について 5年連続の増配(※1)、増配額は8億円、有配当契約の約7割(267万件)に割当て
- 平成24年度からの5年累計の増配額は57億円
- 死亡保障契約と医療保障契約について引き上げ
- 死亡保障契約の増配は、平成30年4月に予定されている標準生命表の改定をふまえ、その一部を1年前倒しでご契約者に還元

(※1)個人保険・個人年金保険の増配額・・・平成24年度:6億円、平成25年度:19億円、平成26年度:16億円、平成27年度:7億円

## 個人保険・個人年金保険の配当金例

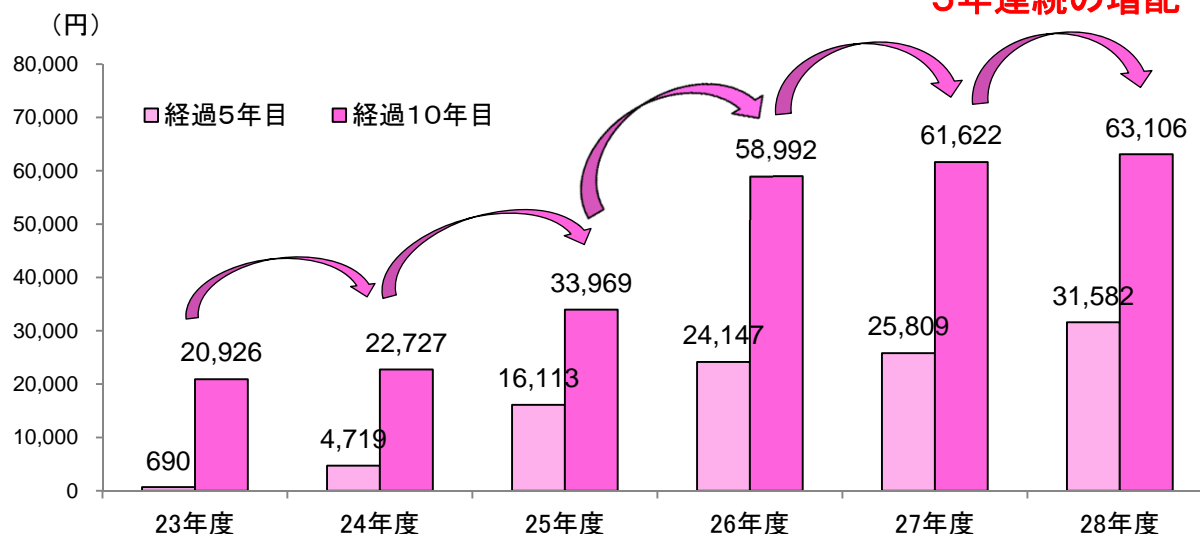
### <配当金例>

加入年度 (経過年数)	年換算保険料 (月払保険料)	受取配当金(案)	[増配額]
平成24年度(※2) (5年)	172,824円 (14,402円)	31,582円	[+4,222円]
平成19年度(※3) (10年)	174,984円 (14,582円)	63,106円	[+7,635円]

(※2)医療バック定期付新積立型介護保険(40歳加入、男性、口座振替月払契約、死亡保険金3,000万円、介護保険金50万円、入院日額6,000円の5年ごと配当付医療保険)の例示

(※3)医療バック定期付新積立型介護保険(40歳加入、男性、口座振替月払契約、死亡保険金3,000万円、介護保険金50万円、入院日額6,000円の5年ごと利差配当付医療保険)の例示

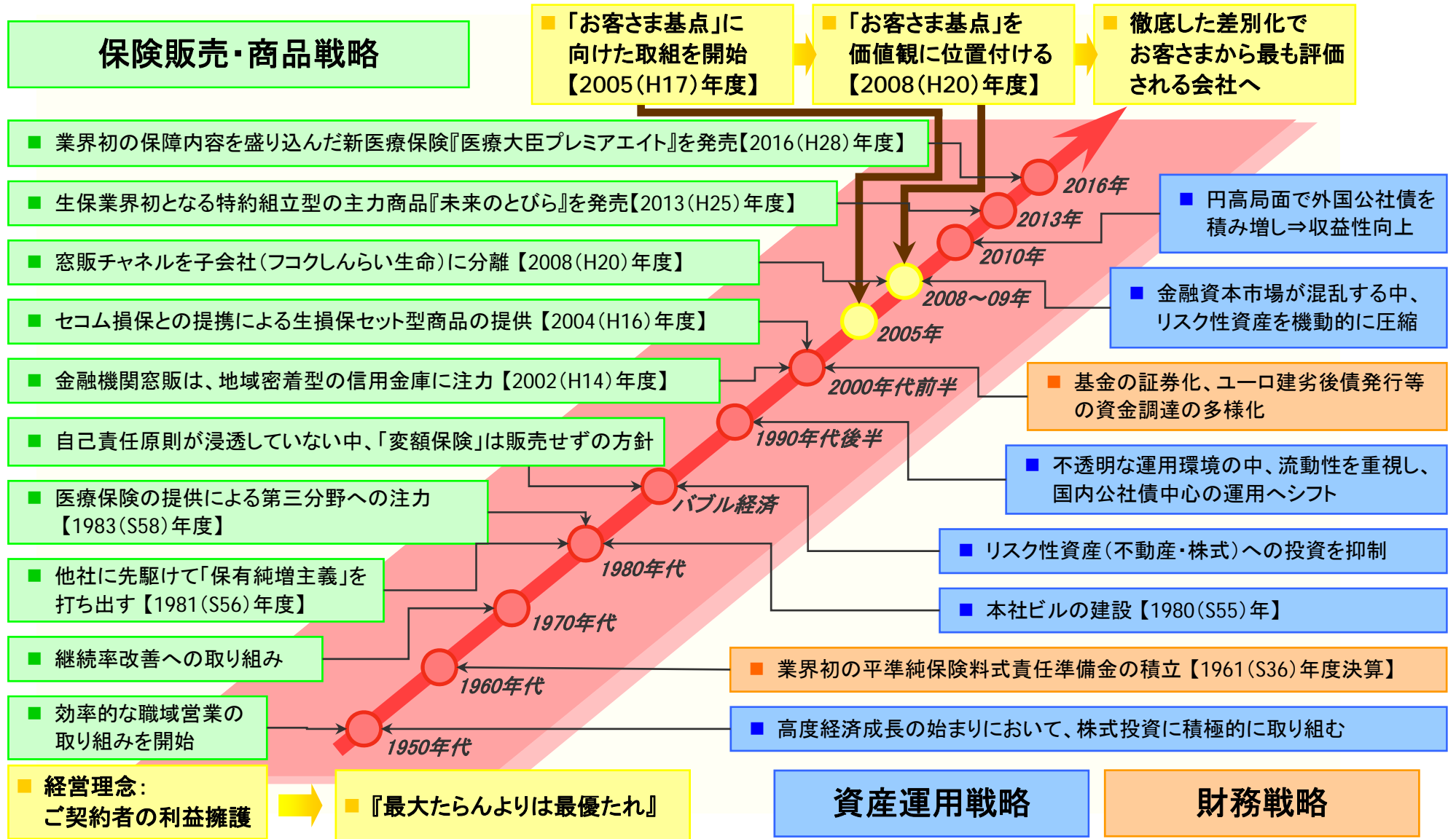
配当金例に基づく受取配当金の推移



- 相互会社である当社は、お客さまの利益のための経営を創業以来行う。
- 配当還元の充実を通じて、お客さまの実質的な保険料負担の軽減をさらに進める。

# 経営の差別化の歴史

自主独立路線のもと、経営の差別化を図る



# 経営の差別化の歴史～保険販売・商品戦略～

## 第三分野への取組み

**H12～** 介護保険

**H15～** 新介護保険  
H21～要介護1から保障

**H23～** 就業不能状態を保障

**H25～** 特約組立型総合保険

万への備え  
身体障がい・介護への備え  
就業不能への備え  
保険料払込免除

ちょうどいい、わたしの保険  
**未来のとびら**

**S58～** 医療保険

**H13～** 医療大臣  
新医療保険

**H21～** 医療大臣  
日帰り入院からきっちり保障の医療保険

**H28～** 医療大臣 プレミアエイト  
8大疾病をしっかり保障

従来の保障内容をバージョンアップ  
8大生活習慣病による長期入院や  
出産など業界初の保障も拡充

業界初の医療特約

**S62～** 通院特約

**H4～** 高度先進医療特約

**H14～** 移植医療特約

生損保セット型商品の提供

**H16～** セコム損保のガン保険  
「自由診療保険メディコムプラス」  
(H21.1～補償範囲を通院によるがん治療まで拡大)

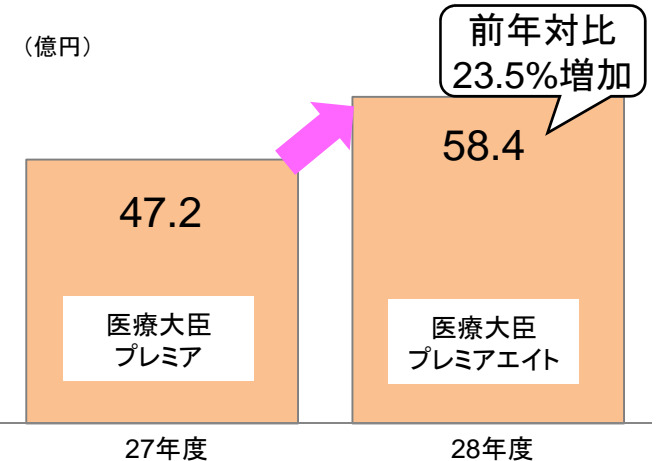
- 昭和58年より医療保険を提供するなど、第三分野に注力
- 業界に先駆けた商品開発(特約組立型総合保険、移植医療特約など)
- 平成23年5月より就業不能保障特約を発売

## 新医療保険の状況 (平成28年度決算)

8大疾病をしっかり保障 プレミアエイト

**医療大臣** H28.4発売

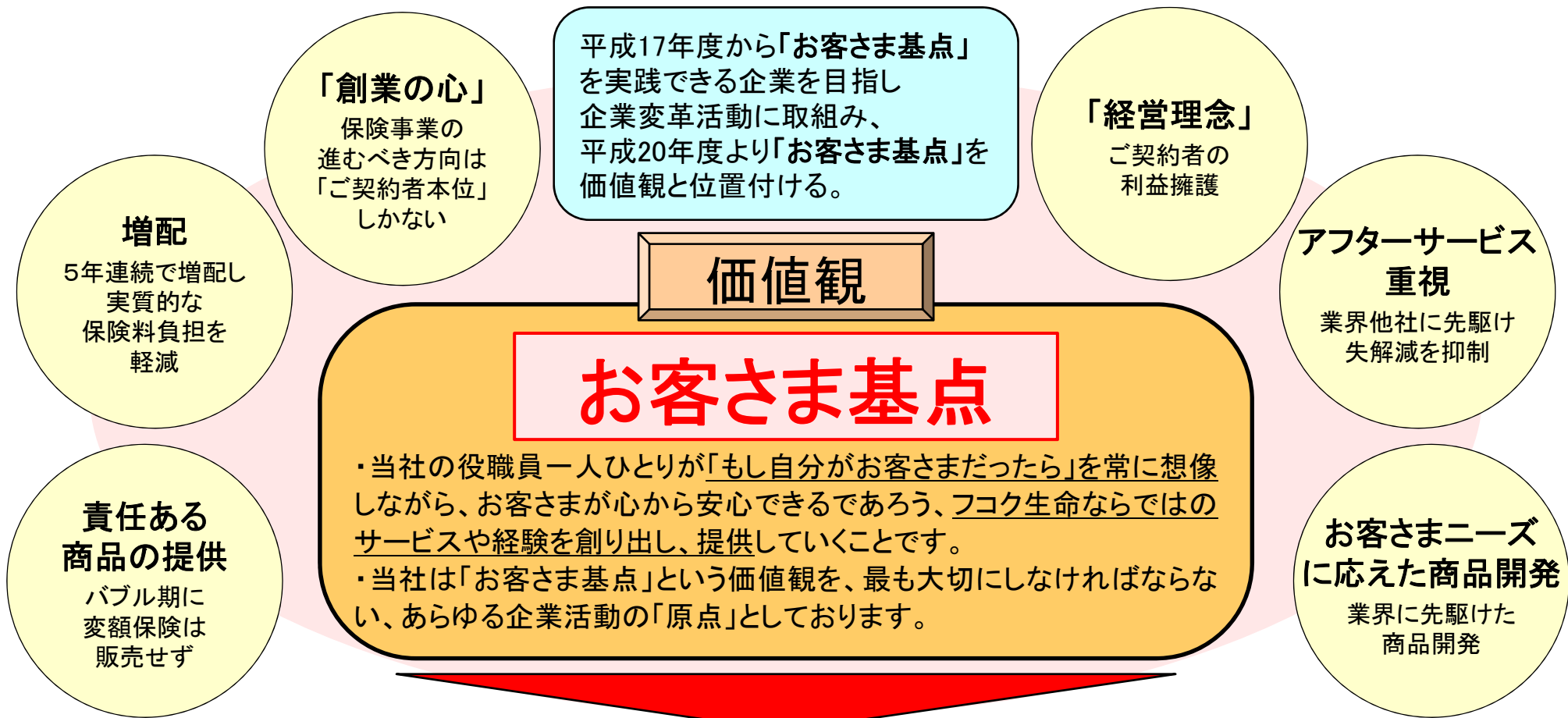
### 医療保険の新契約年換算保険料



	27年度	28年度
新契約件数	151,854件	177,191件
1件あたりの年換算保険料(※)	31,145円	32,969円

(※) 転換契約の年換算保険料は、転換前契約と転換後契約の年換算保険料の差額

# 価値観としての「お客さま基点」



**「コーポレートガバナンス基本方針」の公表（平成28年6月）**  
 持続的かつ安定的に事業を継続し、ご契約者に安心を提供するため、基本方針に基づきコーポレートガバナンス体制を構築

**顧客本位の業務運営**  
 顧客本位とはお客さまの立場で考え行動することで、従来から当社が取り組んできた「お客さま基点」そのもの

**「日本版ステewardシップ・コード」の受け入れ（平成26年5月）**  
 お客さまからお預かりした大切な保険料の中長期的なリターンの拡大に資するよう、ステewardシップ活動を行い、投資先企業の持続的成長を促す

# (ご参考)主要業績①

## 保有契約の状況(富国生命、フコクしんらい生命合算)

### 個人保険(個人保険+個人年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成27年度末		平成28年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	245,166	99.3	242,866	99.1
個人年金保険	42,655	99.6	42,817	100.4
保有契約高	287,822	99.3	285,683	99.3

新契約高・解約失効高 (単位: 億円、%)

	平成27年度		平成28年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	17,749	104.4	16,382	92.3
個人年金保険	2,269	125.2	2,136	94.2
新契約高	20,018	106.4	18,519	92.5
解約失効高	14,164	93.6	13,791	97.4
(解約失効率)	(4.89%)	△0.25 ポイント	(4.79%)	△0.10 ポイント

保有契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成27年度末		平成28年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	3,143	102.2	3,190	101.5
個人年金保険	2,608	101.6	2,628	100.8
保有契約年換算保険料合計	5,752	101.9	5,819	101.2
うち医療保障・生前給付保障等	1,092	100.8	1,108	101.5

新契約年換算保険料・解約失効年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成27年度		平成28年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	269	107.5	241	89.5
個人年金保険	125	108.3	89	71.1
新契約年換算保険料合計	394	107.7	330	83.7
うち医療保障・生前給付保障等	70	99.9	78	111.1
解約失効	181	95.9	168	92.7
(解約失効率)	(3.22%)	△0.18 ポイント	(2.92%)	△0.30 ポイント

### 団体保険(団体保険、団体年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成27年度末		平成28年度末	
		前年度末比		前年度末比
団体保険	173,428	101.3	174,460	100.6
団体年金保険	21,189	99.8	21,567	101.8

- ・解約失効率は保険金ベースで前年対比0.10ポイント改善、保険料ベースで前年対比0.30ポイント改善
- ・保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年度末比1.2%の増加、うち医療保障・生前給付保障等は前年度末比1.5%の増加
- ・新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)のうち医療保障・生前給付保障等は前年対比11.1%の増加



## (ご参考)主要業績②

### 保有契約の状況(富国生命単体)

#### 個人保険(個人保険+個人年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成27年度末		平成28年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	234,174	98.9	231,606	98.9
個人年金保険	27,833	96.9	27,903	100.3
保有契約高	262,008	98.7	259,509	99.0

新契約高・解約失効高 (単位: 億円、%)

	平成27年度		平成28年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	16,316	104.3	15,601	95.6
個人年金保険	1,009	139.2	1,582	156.8
新契約高	17,325	105.8	17,184	99.2
解約失効高	13,417	93.2	13,135	97.9
(解約失効率)	(5.05%)	△ 0.25 ポイント	(5.01%)	△ 0.04 ポイント

保有契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成27年度末		平成28年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	2,748	100.4	2,779	101.2
個人年金保険	1,322	99.7	1,343	101.6
保有契約年換算保険料合計	4,071	100.2	4,123	101.3
うち医療保障・生前給付保障等	1,075	100.8	1,091	101.5

新契約年換算保険料・解約失効年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成27年度		平成28年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	200	104.2	212	106.1
個人年金保険	34	107.2	50	148.5
新契約年換算保険料合計	234	104.6	263	112.3
うち医療保障・生前給付保障等	70	100.0	78	111.4
解約失効	137	92.2	131	95.5
(解約失効率)	(3.39%)	△ 0.27 ポイント	(3.23%)	△ 0.16 ポイント

#### 団体保険(団体保険、団体年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成27年度末		平成28年度末	
		前年度末比		前年度末比
団体保険	169,723	101.8	171,515	101.1
団体年金保険	21,189	99.8	21,567	101.8

- ・解約失効率は保険金ベースで前年対比0.04ポイント改善、保険料ベースで前年対比0.16ポイント改善
- ・保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年度末比1.3%の増加、うち医療保障・生前給付保障等は前年度末比1.5%の増加
- ・新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)のうち医療保障・生前給付保障等は前年対比11.4%の増加

# (ご参考)主要業績③

## 収支の状況

### 保険関係収支

(富国生命、フコクしんらい生命合算) (単位: 億円、%)

	平成27年度		平成28年度	
		前年度比		前年度比
保険料等収入	7,888	99.0	6,487	82.2
うち個人保険分野	5,142	102.2	3,965	77.1
うち団体保険分野	2,695	93.5	2,472	91.8

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

	平成27年度		平成28年度	
		前年度比		前年度比
保険料等収入	6,180	96.1	5,744	92.9
うち個人保険分野	3,447	98.2	3,232	93.8
うち団体保険分野	2,683	93.5	2,462	91.8
保険金等支払金	5,905	120.4	4,891	82.8

(注) 保険料等収入の個人保険分野は個人保険と個人年金保険、団体保険分野は団体保険と団体年金保険の合計額を、それぞれ記載しています。

### 【金融機関による保険販売の状況】(フコクしんらい生命実績)

(単位: 件、億円、%)

	平成27年度		平成28年度	
		前年度比		前年度比
新契約件数	58,063	110.7	26,733	46.0
保険料	1,497	110.5	504	33.7

※平準払契約については初回保険料の単純合計

### 資産運用関係収支

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

	平成27年度		平成28年度	
		前年度比		前年度比
資産運用収益	1,866	92.4	1,561	83.7
うち利息及び配当金等収入	1,373	100.5	1,344	97.9
資産運用費用	455	127.5	445	97.9
資産運用関係収支	1,411	84.9	1,115	79.1
特別勘定資産運用損益	△23	-	40	-

### 基礎利益

(富国生命単体) (単位: 億円)

	平成27年度	平成28年度
基礎利益 A	923	889
危険差+費差	701	700
利差	221	188
キャピタル損益 B	92	△144
臨時損益 C	△412	△204
経常利益 A+B+C	603	541

(富国生命、フコクしんらい生命合算) (単位: 億円)

	平成27年度	平成28年度
基礎利益	948	915

# (ご参考)主要業績④

## 資産・健全性の状況

### 資産の構成

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

区 分	平成27年度末		平成28年度末	
	金額	占率	金額	占率
総 資 産	64,898		65,656	
うち一般勘定資産	64,107	100.0	64,899	100.0
うち公社債	26,591	41.5	28,435	43.8
うち株式	5,703	8.9	6,565	10.1
うち外国証券	17,000	26.5	17,026	26.2
うち貸付金	6,936	10.8	6,277	9.7

### 含み損益の状況(一般勘定)

(富国生命単体) (単位: 億円)

区 分	平成27年度末	平成28年度末
	差損益	差損益
有 価 証 券 合 計	8,414	7,622
うち公社債	4,579	3,708
うち株式	2,372	2,847
うち外国証券	1,329	907
不 動 産 (土地・借地権)	1,085	1,159
合 計	9,499	8,781

### 健全性を示す指標

(富国生命単体) (単位: 億円)

項 目	平成27年度末	平成28年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	13,745	14,140
リスクの合計額 (B)	2,079	2,327
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,321.8%	1,214.8%

(単位: 億円)

	平成27年度末	平成28年度末
実 質 純 資 産 額	16,789	16,236
対一般勘定資産比率	26.2%	25.0%

(連結ベース) (単位: 億円)

項 目	平成27年度末	平成28年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	14,176	14,884
リスクの合計額 (B)	2,113	2,367
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,341.5%	1,257.3%

(単位: 億円)

	平成27年度末	平成28年度末
実 質 純 資 産 額	19,286	18,353